

令和7年5月理事会議事録速報

取締役会と同時開催なので、役員会欄に掲載の役員会便りと同一内容です。

開催日時・開催場所・出席者

開催日時	令和7年5月24日 午後4時～		開催場所	ブリックアンドウッドクラブ
出席者 <small>(敬称略・議長以外各50音順)</small> リモート参加も議決権を有す。 委任は理事会のみ	取締役兼理事 11名	議場 田井 (理事長)、木内 (副理事長)、上西、加藤、北島、草深、塩田、吉田 (中川委員長の代理) リモート 生木、村岡 欠席 橋本		以上 10名出席
	取締役 (非理事) 2名	議場 片岡、村瀬 リモート 無し 欠席 無し		以上 2名出席
	執行役員兼理事 1名	議場 野村 リモート 無し 欠席 無し		以上 1名出席
	最高顧問兼理事 1名	議場 坂 欠席 無し		以上 1名出席
	以上 理事 13名 取締役 13名			委任状、代理を含め合計 12名出席 委任状、代理を含め合計 12名出席
	監査役兼監事 2名	議場 高橋 リモート 無し 欠席 角川		以上 1名出席
	傍聴 理事でない執行役員 3名	議場 篠本、雪 リモート 井口		以上 3名出席
	MFC 管理組合	議場 出席無し		出席 0名
	事務局	議場 松本		以上 1名出席
	その他	議場 白山、野村亜美、熊木、河村、檜垣美子		以上 5名出席

理事会は議事を行うための定足数を充足、取締役会も議決を行うための定足数を充足。

議題

理事会

1. 委員会報告

① 競技委員会 (加藤委員長)

・添付資料に基づいて報告がなされた。内容は、①5月に開催された月例会の結果、②6月に開催を予定しているクラブ競技の案内 (積極的な参加に向けた呼び掛け有り)、③関東クラブ対抗 (男子) の結果 (19クラブ中 11位) 報告と、関東女子倶楽部対抗 (5/28 開催予定) の予告。

② クラブライフ委員会 (上西委員長)

・添付資料に基づき、5/17に開催された開場記念祭の結果と、今後の主催イベント (プールサイドのタペイエル大学コンサート、ガゼボナイト) の準備状況について、報告が行われた。
・開場記念祭 (5/17) については、例年を上回る参加者数 (240名)、特にゲストの参加者が約80名に上り、メンバー勧誘の契機とする、という今回の開催目的に合致した結果となった旨の報告があった。

・クラブライフの向上に向けた論議の中で、委員会メンバーより「過去に行なっていた種々のコンペ（血液型コンペ等）を、改めて各委員会幹事持ち回りで開催してはどうか。」との意見があった旨が報告された。
→エリア別コンペを開催すると、誘い合わせて来場するインセンティブが高まり、メンバーになる可能性が高いという過去の経験則がある。(by 坂理事)

③ グリーン委員会（北島委員長）

・5月5日に開催されたグリーン委員会につき、添付の議事録に基づいて報告、説明が行なわれた。
・委員会メンバーから出された「白線範囲は修理地であることをローカルルールに加え、マスター室やカートに掲示してはどうか。」との意見については、その場で加藤競技委員長の承認（「已むを得ない。」と）が得られ、「青杭または白線にて表示する」に変更し、掲示することとなった。

④ 広報委員会（野村委員長）

・ニューズレター春号が5月30日に納品される。その後随時発送の予定。

⑤ ジュニア委員会（草深委員長）

・4/27(日)に開催されたジュニアレッスン会とジュニア委員会についての報告があった。年会費の引き上げについて、委員会場で特段の反対意見は出されなかったことが報告されるとともに、ジュニア委員会としてやるべきことをやって行く旨の表明があった。

・5/11(日)のファミリー大会が、無事終了した旨の報告があった。

⑥ ハンディキャップ委員会（吉田副委員長）

・クラブハンディキャップ規定の改定につき、添付資料に基づいて説明と報告があった。

・変更点は、半期査定における査定対象期間の1か月前倒し。

⑦ フェロウシップ委員会（塩田委員長）

・5月4日(日)に開催されたフェロウシップコンペと委員会につき、塩田委員長から報告があった。4チーム編成で実施したスターターについての報告がなされるとともに、委員会メンバーから寄せられた質問や意見について説明が行なわれた。

・質問としては、赤字の原因が知りたい、が多数。メンバーとして何が出来るか、については、新しいメンバーの勧誘とミニマムユースの増額といった意見が出された由。フェロウシップ委員会としては、魅力あるゴルフ場であり続けることに重点を置くべき、が総意である、と。

2. 来期の年会費等

木内副理事長より、添付資料「第40期年会費等の対応」に基づいて、「①基準値の再確認→②今期39期での対応→③次期40期での対応案（提案部分）→④他の主な選択肢」の順番で説明と提案が行なわれた。また、加藤理事からは、本件に関する競技委員会における議論の纏めが資料として提出された。

その後の論議、質疑応答は以下の通り。

・対応案の中に、「ネットビジターのプロモーションを来期まで継続し、11百万円の売上増を想定」とあるが、ネットビジターを増やすことによるデメリットとしてはどのようなことが想定されているのか？（上西）
→コロナ期にネットビジターを募った際には、それによって入場者数が大幅に増加する結果となり、そのことがコースの状況に少なからず影響を与えたものと認識している。今回に関しては、メンバー・ゲストが減っているために入場者の総数は増えておらず、（コースに）大きな影響が出るとは考えていない。ネットビジターについては、現在の年間4,000人（31,000人中）が、さらに1,000人弱増えることを想定している。（木内）
・ネットビジター、ブルーリーフ事業の双方に共通する観点であるが、そもそも600人程度のメンバーからの上がりによって、運営にかかるコスト全体を賄って行こうという前提に無理と限界があるのではないかと。周縁部や外部からの売上を増やしていても良いように思う。（加藤）

→高齢化を主因として、メンバー全体のアクティビティが落ちている実態にある。これに如何に対応するかは

大きな課題。取締役会で議論を予定している村瀬さんからの提案とも絡んだ話である。(木内)

・コースを主軸としたゴルフ場の魅力を下げることが避けなければならないと思う。(上西)

→少し高めの料金設定(平日12,000円)でも魅力を感じて来てくれるビジターがいらっしゃるの、正にそこが理由だと思われる。(木内)

・外部からの売上を追求する点については加藤理事の意見に賛成であり、年会費の引き上げはサステナブルとは言えないように思う。同時並行でメンバーのプレーフィー引き上げ等も検討すべきである。売上アップ策としてフードクーポンの復活を検討してはどうか、との意見もある。ブルーリーフ事業については目標値を明確に示して欲しいと考える。(野村(匝):オブザーバー)

→期の途中でも実施出来ることは色々あり、それらについては随時決定し実行に移して行きたいと考えている。他方、年会費については本日の理事会において結論を得る必要がある。(木内)

・年会費の引き上げについては、この場で決定すれば確定的に見込める増収策である。他方、プレーフィーの値上げは来場者数に影響する可能性があり、増収が約束された施策ではないことから、年会費の引き上げは必要と考える。バランスシートを見ると、2年前に68百万円あった現預金が28百万円まで減少しており、施策がこれだけで十分か、という思いがある。ブルーリーフ事業については、その収支の推移をメンバーにつまびらかに示していく、そうしたコミュニケーションが大切だと思う。(草深)

・クラブの経営がどのようにすれば成り立つのかという根本的な問題。元々は、赤字が出れば皆で割る、という「割り勘制度」が原則であったが、それでは賄いきれない段階にきている。別の方法で利益を生み出す手段をもう少し追求しても良いのではないかと思う。(坂)

・自分の中では、ゴルフ場の収益を考えるのが精一杯。会社(高滝リンクス)として考えても、ブルーリーフの収支についてまで責任をもって考えるだけの余裕は無いのではないか。2~3年やってみても黒字化しないようであれば、その段階で止めた方が良いように思う(野村)

・コミュニティ建設の折も、根強い反対運動があった。しかしながら、コミュニティが無ければ、現在のクラブのステータスには到達し得なかったと思う。(坂)

・コース管理を見ている立場からの意見だが、スタートして25年が経過する中であちこち修繕が必要な状況になってきている。メンテのための機械や車輛もギリギリの台数で回している実態にある。今後益々、維持管理のためのコストが増すことが推測される一方で、ゴルフ場本体の売上には自ずと限界がある。そのように考えていくと、ゴルフ場の外枠でお金を稼ぐ手段(ブルーリーフ)があることは非常に重要だと思う。(北島)

・集客施策について。全体として来場者の減少傾向が続く中、先日の開場記念祭に例年を大きく上回る人数が参加したのは何故だろうか?(野村(匝):オブザーバー)

→25周年イベントということで、ゲストを呼び易かったことが一因と思われる。(上西)

・基準値を定めた際の考え方は、足りない分は1回の取り切りの形で追加徴収し、後は翌年が同様の事態にならぬよう皆で売上げを増やしましょう、以上、というものであったと思う。(草深)

・経常的にコストが上がっているのであれば、少なくとも一定部分は年会費で受け止めるべきなのだと思う。他方、ブルーリーフについては、初期の投資的コストを峻別して考える必要がある。(上西)

・メンバーとして、ブルーリーフの売上げにどのようにすれば貢献することが出来るのかが良く分からないとの思いがある。(檜垣:オブザーバー)

→ブルーリーフの存在は、BWC全体の魅力向上に必ずや貢献するものと考えている。(坂)

・レストラン等の環境整備を否定するものではないが、ゴルフ場そのものの魅力が下がってしまえば元も子も無いように感じる。やはりその部分にリソースを優先投入すべきではないか。(野村(匝))

(坂最高顧問より、添付資料「クローズドクラブ、本物のメンバーズクラブの方針は守ることを前提とした高齢化対策」に沿って説明がなされた。要旨は以下の通り。)

・昨今の働き方改革の影響により、人件費単価の上昇もさることながら、一定の要員増加を受け入れなければならない状況になっている。ここに、この時代にクラブを維持していくことの難しさがある。

- ・自分としては、メンバーの募集と並行して従業員の確保にも大変な力を注いできたが、その実現のためには、クラブ自体が地元に向けて開かれた場所であることが必要であり、その役割を果たすのがブルーリーフであると考えている。宿泊施設についても、来場者の幅を広げる上で、不可欠なツールである。
 - ・本物のメンバーズクラブというものがどういうことで成り立つのかを常に考え続けてきた。先日、バンカーの状況を見たあるメンバーから砂の無償提供の申し出があった。こうした方々の善意によって、このクラブは支えられているのだと改めて感じた。
 - ・メンバーそれぞれが自覚的に役割を分担することによって、本物のメンバーズクラブなるものを今後も存続させていくしか無いと考えている。
- BWCが坂さんの努力と善意によってここまで成り立ってきたことは理解し感謝しているが、坂さんは代わりの居ない存在であり、将来を考えるとサステナブルとは言えないように思う。(野村)
- メンバー皆のボランティア精神と発意とを糾合することで、サステナブルな運営が可能と考える。(木内)
- ・一時的に発生した費用をどうするかについては、まずは皆の努力による売上げ向上によってカバーすることを目指す。40期の終了までやってみて目標が達成出来なければ、その時は皆で割る、という考え方になるのではないかと。ブルーリーフの状況も見つつ、その時点で判断する事柄かと思う。(上西)
 - ・先程の砂の提供の一件は非常に良い話であり、好例を示すとの観点から、広報で取り上げてみてはどうかと思う。(白山：オブザーバー)
 - ・年会費の引き上げについては、一律の割合(8%)の引き上げではなく、一律の金額(例えば一人1万円)アップにする、という考え方もあるように思う。(加藤)
- 一律の割合の引き上げには、より低いステージへの移行を誘発するというデメリットがあることは承知しているが、強い反対意見が無ければ一旦は原案にて理事会としての意思決定としたいと思うがどうか。(木内)
- 異議無し。(一同)

以上

取締役会

開催日時 令和7年5月24日(土曜日) 午後4時～
 開催場所 ブリックアンドウッドクラブ ラウンジ中二階 今回も理事会と同時開催。
 リモート参加を可能とし、リモート参加者も出席者として議決権を有する。

議題

議決事項

(1) 株式譲渡承認について

株種類	譲受人	譲渡人	備考 (金額は税込・敬称略)
普通株	中嶋一浩	内田俊弘	譲受人紹介者は岸田直明、名変料88万円、譲受人は休会中。
普通株	坂 征郎	酒匂隆雄	譲受人は譲受株を一時保管。名変料なし。 譲渡人は休会中

木内社長より、「当該2件とは別に、株式の売却を希望する10名について、コジロー社への譲渡の話が進行中である。適宜買い入れを進めることにつきご一任をいただきたい。」との説明があり、本件を含め異議無く了承された。

報告・協議事項

(1) 最近のゴルフ場の売り上げ状況について

資料送付済

	本年4月	前年	前年比	内平日	前年比	内土日祝	前年比
営業日数(日)	29	29	0	20	0	9	0
来場者数合計(人)	2,337	2,551	-214	1,300	-61	1,037	-153
内 M	1,257	1,417	-160	472	-57	785	-103
G	645	753	-108	397	-57	248	-51
V	120	73	+47	120	50	0	-3
N	315	308	+7	311	+3	4	+4
ゴルフ場売上高(万円)	2,382	2,448	-66	1,326	+79	1,056	-145

4月の来場者数は2,337名で前年比214名の減少(無料来場者が98名減少なの有料来場者は116名の減少)。平日は61名減少し、土日祝日は153名減少した。いずれも雨の影響も有る。

この結果、ゴルフ場売上は前年比66万円の減少となった。

今期初9月から4月迄の8か月間のゴルフ場売上は19,353万円で前年同期間比118万円減少中。

5月23日までのゴルフ場来場者数は、2,025名にて、前年同日対比73名の減少。ゴルフ場売上は、2,383万円にて、前年同日対比26万円の減少。

ブルーリーフの事業収支については、以下の通り。

2025年4月のブルーリーフ事業収支 (数字はすべて税抜き)

	売上	仕入原価	粗利	損益	経費合計	人件費	家賃	消耗品	会費	水道光熱費	通信費	セコム	防犯カメラ	ソフト
ホテル	352,203		352,203				300,000	18,386			9,500	50,000		
レストラン	3,794,051	1,442,060	2,351,991				300,000	34,594			15,607			
マーケット	337,341	206,552	130,789					13,248			5,405	14,000		
合計	4,483,595	1,648,612	2,834,983	-224,635	3,059,618	2,076,328	600,000	66,228	12,000	162,450	30,512	64,000	17,900	30,200

(2) 最近月の入退会状況について

4月の入会は3口31名（阿蘇様・春田様・秋山様）だった。

5月の入会者は18日現在で1口2名（金様）。これを含めても今期中入会者は14口17名で、期中目標30口以上勘案、入会者獲得に多大な努力を要す。

(3) 当期中間決算実績（参考資料として前期と対比させた39期上期の損益計算書を添付）

当期（第39期）2月中間決算は、先月取締役会での見込報告の通り確定した。

（木内社長より、以下の補足説明がなされた。）

・上期は約3,000万円の赤字となったが、①売上が下期の方が多く、②ブルーリーフの初期投資があること、から、通期でこの倍の結果になる訳ではない。

・人件費が約1,500万円増加しているが、これは人の確保を優先したことの表れでもある。例えば、コース管理の要員は直近で8名から10名へと増員となっている。

（野村執行役員より以下。）

・ニューズレター誌上に木内社長のインタビュー記事を掲載した。来場者数は約1,000人減少しているが、ゲストのプレーフィーを引き上げたことの効果により、売上げはほぼ横ばいとなっている。

(4) 新株発行等に関する提案

→村瀬取締役より、添付資料「経営課題と対応案（2025年5月取締役会）」に基づいて、以下の通り提案が行われた。

・現時点で、株式発行総数のうち400株ほどの休眠株があり、実質アクティブ会員が600名を下回る傾向にある。かつ高齢化が進行する中、SコースからAコース、AコースからBコースといった移行もあって、全体として株主（≒メンバー）としてのパフォーマンスが低下傾向にある。

・現状、予約が取りにくいといった状況には無く、25株程度の新規発行であれば、既存株主の利益を損なう程の影響は無いと考えられる。

・上述の休眠株主等の株式を買い取る仕組みを構築するため、ならびに当社の要返済債務に対応するために、コジローからの債務を利用して、追加資金の無い形で新株発行を実行することを提案したい。

（以下、質疑応答。）

・新メンバーの募集にあたっては、外部の会社を活用する等して短期でやり切りたい。（木内）

・価格がマーケットで明らかになることとなるが、その是非をどのように考えるかが問題。過去には、外部からは名変料が高額過ぎるとの指摘を受けた経緯がある。（草深）

・わざわざ新株発行するのは、当社の債務でこれを相殺し、財務体質を強化するということがまず大きな目的である。（木内）

・当クラブの魅力と言える要素として、①メンバーの雰囲気やスタイル、②女性メンバー比率の高さ、を挙げることが出来る。この部分の安心感や心地良さについてはマーケットでも評価されるのではないかと考えている。（松本）

・本件は増資に該当するため、株主総会での決議が必要となる。7/26に臨時株主総会を開催してはどうかと考えている。（木内）

・先程坂さんから説明のあった「クローズドなクラブ」という概念とは、一定のコンフリクトがあるように感じる。（加藤）

・既にこれまでも、多くの方がウェブやSNSを契機に住宅を購入したり、メンバーになったりしていて、すべてがメンバーのロコミということではなくなっている。特に、コミュニティの住宅購入を開始してからこの傾向が顕著になった。BWCとして喜んで迎えられかどうか、審査の体制もしっかりとっていく必要があるが、

そうした前提で仲間を増やせればと考える。(木内)

(5) ブルーリーフの事業について

ブルーリーフの営業状況について特に報告すべき点が有れば報告。→特に無し。

(6) コースの状況について

グリーン委員会の報告に加え特に報告すべき点が有れば報告。→特に無し。

(7) 施設の有効活用について

①特に報告事項が有れば報告。→特に無し。

(8) その他

北島取締役より、グリーン委員会委員長名で発する芝刈りボランティアの募集について了承をいただきたい、との提案があり、承認された。

→上記(1)から(8)について報告を受け、協議の結果了承した。

以上